

農地・水保全管理支払交付金の2期対策にあたり

山口県農林水産部農村整備課課長 藏重 裕夫

各活動組織の皆さんには、農地や農業用水等の基礎的な保全管理を行う共同活動や農業用水路等の長寿命化のための補修・更新を行う向上活動に積極的に取り組んでいただいていることに対し、まず厚くお礼申し上げます。

また、最終的には、予算を確保できたものの、年度当初には、国の予算配分が少なかったことから、皆さんには大変なご心配、ご迷惑をおかけしたことに対し、深くお詫び申し上げます。

さて、私は、本年4月に農村整備課長に就任いたしました。就任にあたり、農地・水保全管理対策に関する所感などを皆様方にお話したいと思います。

農地や農業用水、ため池など、農村地域の資源は、食料生産という基本的な役割に加え、国土保全や生態系の保全といった多面的な機能を有しており、農家はもとより、国民全体で維持・発展させていく必要があります。

一方で、農村地域における過疎化、高齢化等の進行に伴う集落機能の低下は、農村地域の資源の保全管理を困難にしています。

「農地・水・環境保全向上対策」は、こうした状況を背景に、平成19年度から本格的にスタートし、本年度からは2期対策目に入っています。本対策は、農地・農業用水等の適切な保全管理に加え、従来から土地改良施設を維持管理してきた土地改良区の強化や、脆弱となっている地域コミュニティの活性化にも有用であることから、本県の農村においても極めて重要な施策であり、さらなる取組の強化や拡大が必要であると思っています。皆さんもご承知かと思いますが、**山口新聞**に毎週金曜日に連載されている「**農地・水・環境 守ろう地域の手に**」のコラムにおいて、県内各地の活動組織が紹介されるたびに、こうした制度の効果を実感しております。

また、本対策は、本年度から各市町で策定が始まった、人・農地プランの具現化に向けた取組の一翼を担える施策でもあると思っています。営農組織、活動組織及び土地改良区等が連携して、本制度を上手に活用していただければと願っています。

次に、2点の情報をご紹介します。

1点目は平成25年度の予算の見通しについてです。

平成25年度の農林水産省の概算要求では、本対策が「日本再生戦略(7月31日閣議決定)」を具現化する「日本再生に向けた改革工程表」に位置づけられていることから、積極的な要求となっています。具体的には、本年度の当初予算約247億円に対し、約287億円(対前年度比117%)の要求額となっています。仮にこの額で概算決定されれば、平成23年度の実績予算を超える程度まで回復することになり、本年度以上の予算の確保が期待できます。

2点目は、毎年、県協議会が開催する「農村環境の未来を考える研修会」の開催案内です。

今年は、11月15日(木)に山口県総合保健会館で、東日本大震災以降注目されている「再生可能エネルギーの利用」をテーマに、講演を計画しているところです。農地・水保全管理対策の取組でも検討、実証が可能であり、地域力向上の参考になると思いますので、多数の参加をお待ちしております。

最後になりましたが、今後も、市町や県協議会と密接に連携しながら、皆さんの支援をして参りますので、引き続き、取組の強化や拡大、さらには、活動組織の強化等について、ご理解、ご協力をお願いします。



採択申請は、10月末までに提出してください！



平成24年度から、農地・水保全管理支払交付金における共同活動支援は事務が簡素化され、向上活動支援は広域エリア(200ha以上)で取り組む組織には「農地・水・環境保全組織」の設立に対する支援が加えられるなどして、第2期対策がスタートしました。

また、活動組織の規約の中において、総会を**毎年度1回以上開催**することや議決方法の明確化と**議事録作成**が必須要件となりました。これは、「地域全体で農地・農業用水等の資源の保全管理や農村環境の保全を図っていく」という本対策の趣旨をきちんと理解し、実践して頂くことを関係者に周知していただくとの思いからです。

このような状況の中、協議会は、活動組織の皆さんに申請手続きをお願いしているところですが、現在約180組織の活動組織から採択申請書が提出されています。共同活動支援については、申請された各組織に対して、随時採択通知を行っていますが、遅延している活動組織がありましたら、市町との協定締結後、速やかに申請していただきますようお願いいたします。なお、活動については、**共同活動は4月からの活動**が認められていますが、**向上活動は、交付決定日以降の活動**となります。また、交付決定前に活動を始めたい場合は、「交付決定前着手届」の提出により着手が可能となりますのでご注意ください。

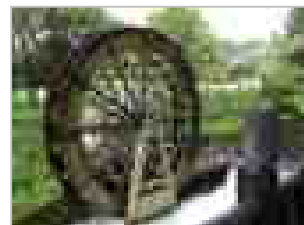
協議会からのお知らせ

平成24年度 農村環境の未来を考える研修会の開催について

日 時 平成24年11月15日(木) 13:30~16:00

場 所 山口県総合保健会館 2F「多目的ホール」

参集人数 約800人



大会プログラム

- ◆ 基調講演 農業用水による小水力発電について (仮称)
栃木県那須野ヶ原土地改良区連合 参事 星野 恵美子
- ◆ パネルディスカッション (予定登壇者)
山口大学農学部教授 深田 三夫
那須野ヶ原土地改良区連合参事 星野 恵美子
山口新聞本部副本部長 宮本 邦彦
山口県立大学看護栄養学部教授 人見 英里
山口県商工会連合会専務理事 西村 克己
山口県地域消費者団体連絡協議会 名和田 伴江
山口県農村整備課長 藏重 裕夫

